

会 議 要 旨 書

会議名	令和3年度第2回三鷹市生涯学習センター利用者懇談会
日 時	令和4年3月26日(土) 午後1時30分～3時
場 所	三鷹中央防災公園・元気創造プラザ5階 生涯学習センター 学習室5、6
出席委員 (13人)	進邦徹夫、今田和生、尾本政二、長田美香子、浜中睦美、今恵里、渡邊伸廣、荒木健治、八木下充子、福島修子、山本昌弘、岩崎好高、小暮裕子(敬称略)
欠席委員 (0人)	
行政職員 (4人)	スポーツと文化部長大朝摂子、生涯学習課長加藤直子、同課主事齊藤満里奈、同課主事笹尾梨良
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴人数	0人
<p>1 スポーツと文化部長挨拶</p> <p>令和4年2月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の第6波が来ていたため、本日に延期させていただいた。本日も、よろしくお願ひしたい。</p> <p>2 開会</p> <p>(事務局より委員の出席状況、傍聴者の有無、会議要旨の公開について報告し、配付資料の確認を行った。)</p> <p>3 議題</p> <p>【座長】はじめに、前回の懇談会で委員の方からいただいたご質問について、事務局よりご回答をお願ひしたい。</p> <p>【生涯学習課長】まず、コミュニティバスに関する質問について回答する。現在、コミュニティバスには6ルートあり合計で250便出ている。コロナ禍以前の令和元年度の年間輸送者数は、1,155,231人で、1日あたりの輸送者数は3,156人、1便当たりの輸送者数は12人であった。三鷹市からの補助金額は、令和3年度予算で69,052,000円となっている。</p> <p>続いて、前期の利用者懇談会でどのような意見が出たのかについてであるが、こちらについては、本日配付している「令和2年度三鷹市生涯学習センター利用者懇談会「市長への意見及び提案」」に記載のとおりである。</p> <p>【スポーツと文化部長】今期についても、今年度、来年度でいただいたご意見をまとめて、市長へ意見書を提出することとなる。</p> <p>【A委員】前回いただいたご意見について回答する。まず、必要な道具を入れるスペースが足りないというご意見についてであるが、活動内容により必要なロッカースペースが異なるため、今後も活動状況を把握しながらロッカーの貸し出しを進めていく。</p> <p>2点目、使用区分の3区分目の利用が少ないのではないかというご意見についてであるが、</p>	

我々も課題認識を持っており、今後は三鷹市スポーツと文化財団で講座を開催するなどの工夫をしていきたい。

3点目、昼食をとるスペースがないというご意見についてであるが、前回の懇談会の時点では開放できていなかったが、その後10月26日から、午前11時30分から午後1時30分までの間、料理実習室を開放している。

4点目、作成中の作品を置くスペースがないというご意見であるが、スペースに限りがあり、現在も確保できていないが、引き続き利便性の向上に努めていきたい。

5点目、市民大学総合コースの講座企画にフレキシビリティを持ってないかというご意見であるが、市民大学総合コースは、企画委員が出した企画に基づいて、1年間講座を進めている。20回の講座は、講師の講義による講座であるが、その他に自主学習日が10日ほどある。その自主学習日を利用して、学習者が学びを深めたいことや疑問点について話し合う機会にしていただければと思う。

【座長】では、議題に入らせていただく。前回の懇談会では、施設・管理に関することについて意見交換を行った。本日は、講座・事業に関することについて意見交換を行う。

(はじめに、令和3年度に生涯学習センターで実施した講座・事業について説明した。)

【B委員】三鷹市スポーツと文化財団で発行している情報誌「MARCL」や広報紙「Mitaka Sports and Culture News」にも、生涯学習の情報が載るようになったが、なぜか。

【A委員】生涯学習センターが開設（三鷹市スポーツと文化財団管理）してから、情報誌や広報紙にも掲載するようになった。

【C委員】前回の懇談会で、食事をする場所について意見をしたら、早速、取り上げていただいた。それに関連して、もっと賑わいを持たせるために、キッチンカーを活用できないか。

【スポーツと文化部長】3年前から元気創造プラザの総点検を行っている。その中で、みんなで楽しく食べたり飲んだりできる場所があるとよいという意見はたくさん出ており、キッチンカーの活用という意見も出ている。現在はコロナ禍で、なかなか着手できていないが、コロナが終息したらキッチンカーというご意見は取り入れてみたいと思う。

【B委員】むらさき学苑について、30回開催されているが、講座内容の企画はどのような形で決めているのか。

【A委員】むらさき学苑の学苑生のアンケートを基に、事務局で企画している。

【D委員】むらさき学苑の案内を見て、ある講座だけを受講したいと思ったが、1年間通して決まった人しか受講できないと言われた。単発でも参加できるとありがたい。

以前、趣味・教養講座に参加したが、意見交換の時間がなかった。最後の15分くらいは、意見交換の場を設けてもらいたい。

【E委員】本日の懇談会では、どのような講座をやったらよいかについて意見をするのか、それとも今やっている講座の1つ1つの中身について意見するのか、どちらなのか。

【座長】どちらについても、ご意見いただければと思う。

【E委員】子どもや働く世代の方が興味を持つ内容が少ない気がするが、講座を企画する上での目的やコンセプトはあるか。

【F委員】三鷹市スポーツと文化財団が実施している事業には、指定管理事業や市から委託を

受けて実施している事業、財団独自の自主事業、その他、子どもへの学習の場の提供、相談事業などがある。子どもや働く世代の方が参加できる講座を、三鷹市スポーツと文化財団でも検討をしているが、ぜひ委員の皆様のご意見もいただけたらと思う。

また、各講座や市民大学総合コース、むらさき学苑などでアンケートを取り、内容を決めている。

【E委員】先ほどの話では、企画委員が出した企画に基づいて、1年間講座をやっているということであったが、この懇談会で意見を出せば今後実施されるのか。

【F委員】市民大学総合コース事業のように、企画委員が出した企画に基づいて、1年間講座をやっているものもあるが、一方でアンケートの結果やご意見などを参考に、スポーツと文化財団が実施する講座もあるので、ご意見を伺えれば、なるべくそれに即した事業計画を行っていききたい。

【スポーツと文化部長】前期の委員から、コロナ禍においてオンラインの活用が重要であるというご意見があったので、生涯学習センターで機材を買い揃えたり、Zoomのスキルを身に付ける講座を実施したりした。このように、三鷹市とスポーツと文化財団で協議して実施できるものもあるので、ぜひご意見をいただければと思う。

【G委員】市民大学総合コースの哲学コースを受講している。企画委員が企画、実施していく中で、スポーツと文化財団の職員にとっても協力していただいた。そのおかげで、受講生にも変化があり、とてもよい雰囲気になり、自主グループもできた。とても感謝している。

一方で、スポーツと文化財団や市の職員の働きやすい環境づくり、テレワークの推進を期待している。

【E委員】市民講師デビュー講座は、市民講師養成コースの受講生が講師をやって、講座で得た知識を他の市民の方にも伝えるというものなのか。経験豊富な高齢者から今の若い世代の方に何かを伝えていく場を設けるとか、そういうことで利用するのであれば市として活性化に繋がると思う。市民講師養成コースはとてもよい事業なので、例えばどこに少年野球のチームがあるのかわかるように一覧を作ったり、文化系の活動をされている方が教えられる場を設けたり、また、市内の中学校にPRしたりするなど、もっと上手に広報することが大切だと思う。

【A委員】昨年度の講師は、仕事で得た知識や整理収納アドバイザーの資格などを活かして市民講師デビュー講座をやっていた。

今年の市民大学総合コースの案内を小学校に配布したところ、それを見た保護者のかたが申し込んでくれたので、今後も広報の方法を工夫していきたい。

【H委員】私の知り合いのかたが、市民講師養成コースを受講した後、実際に市民デビュー講座を実施したが、それで終わってしまう。講師を探せるサイトがあるが、アクセスがほとんどなく、その先につながっていない。

趣味・教養講座において、受講者がその後新しいグループを作ったりということはあるのか。

【A委員】団体登録するには、6人以上という条件があり、難しい部分もあるが、今年度については、俳句入門講座や大人のための哲学対話講座、市民大学総合コースの教育・子育てコース哲学コースから、新たな自主グループが生まれた。

【H委員】以前あったボランティア養成講座も、受講後の活動につながっていない。また、

自主グループの登録サイトのメンテナンスが行われていない。Wi-Fi が使えるようになって、とてもありがたいが、1時間で切れてしまうので、部屋の1区分が3時間なので3時間使えるようにしてほしい。

【A委員】フリー Wi-Fi は1時間で切れてしまうため、それ以上使いたい方にはポケット Wi-Fi の貸出しを行っている。今後、十分に広報していく。

【スポーツと文化部長】フリーWi-Fi は、災害対策を兼ねているので、1人で長時間使いすぎないように一旦1時間で切れる設定になっている。

【生涯学習課長】先ほど意見のあったボランティア養成講座は、現在、市民講師養成コースとして実施している。

【H委員】市民講師養成コースは、個人対象なのか。それともグループでの講師もありなのか。

【A委員】個人が対象である。

【H委員】社会教育会館では、10~20人で講師に教わり、その人たちで子どもたちに教えに行っていた。そして、活動を続けたければその後グループを立ち上げるというものであった。

【E委員】様々なスキルを持ったかたからどんどん派生していくことで、新たなコミュニティが作られるとよい。また、講師デビューして終わりではなく、運営側が固定のコンテンツとしてやっていくことができれば、もっと市民としての盛り上がりがあるのではないかと。

【A委員】話し方を学びたいが、講師デビューはしたくないという方もいたため、今年から、どのようなスキルを持っていて、どのような内容で講師デビューしたいかを聞くことにした。コンテンツを残していくと講座が無限に増えてしまうので、自主グループ化をサポートするというのが生涯学習センターの役割だと思っている。

【G委員】発展的に運営するために、市民講師養成コースの受講生は全員、1回は講師としてデビューし、その後、人気のものは自主グループとして活性化していくというようにすればよいと思う。

【I委員】趣味・教養講座がたくさんある。自主グループにつなげていくとか、ボランティアのやり方など実務に必要なものは別として、いわゆる趣味・教養に関するものをつなぐというのは、とても難しい。

【A委員】受講生のスキルが違っていると、そこからグループにするのは大変であり、自主グループにならないケースもある。自主グループが立ち上がらなかった場合には、例えば絵画の講座では、生涯学習センターでやっている絵画グループのチラシをご案内した。

【I委員】例えば美術史や文学などは、講師によって見方が全然違う。それをどのようにしてつないでいくのか。

【スポーツと文化部長】生涯学習センターの一番の取組は、一人ひとりの市民が学びたい、やってみたいと思うことを応援していくことである。一般的には、講座から自主グループにならない方が多いかと思う。そのため、新たに自主グループを立ち上げるだけでなく、既存の自主グループに入れるところがないかを探すということに取り組んでいる。

【J委員】去年から講座や Zoom に参加している。利用者懇談会について電話で問い合わせたところ、すぐにわかってもらえなかったのが、もう少し早い対応があるとよかった。

生涯学習センターのホームページに、講座や自主グループについてもっと内容がわかりやす

く掲載されているとありがたい。

【生涯学習課長】利用者懇談会は市生涯学習課が所管しているが、生涯学習センターとも連携して行っているため、今後は情報を共有できるようにしたい。ホームページについても、情報を幅広く提供するように生涯学習センターと連携していく。

【K委員】むらさき学苑に参加している。本来 30 回の講座があるが、今はコロナで 2 班に分かれて実施しているため、実質 15 回しか講座を受講できない。定員も今は 126 人だが、コロナ前は 150 人であった。むらさき学苑は 50 年の歴史があり、コロナ禍でも出席率は 80% 近く、とても盛況である。早くコロナが終息して、社会科見学に行ったり、フェスティバルに参加したりできるようになることを願っている。

【L委員】新しく自主グループができたときは、ホームページのトップページにお知らせとして載せてもらえるとわかりやすい。

前回、ロッカーがないという意見をしたら、すぐに対応いただき感謝している。茶道のグループで活動しているが、高齢者も多いため、和室に椅子をあと 4 脚追加していただきたい。

【座長】今後、また気が付いたことがあれば、メールで事務局にご意見を送っていただければと思う。

本懇談会で議論したことについては、生涯学習審議会・社会教育委員会でも報告している。生涯学習審議会・社会教育委員会でも、「学びと活動の循環」ということが言われている。元気創造プラザには、生涯学習センター以外にも様々な施設が複合されているため、各施設を総合的に活用するような展開が必要であるという意見が出ていた。

4 その他

次回の懇談会は、令和 4 年 9 月か 10 月に開催予定